原著論文

インゲンマメの黄緑色変異体 *ytg-2* における葉色の変異機構

Ziyan Wang[1)]・Dajun Liu[1)]・Xiaoxu Yang[2)]・Ruijie Ji[2)]・Guojun Feng[2)]・Zhishan Yan[2)]・Chang Liu[1)]
([1)]Academy of Morden Agriculture and Environmental Sciences, Heilongjiang University, China, [2)]Jiaxiang Industrial Technology Research Institute of Heilongjiang University, China)

Breeding Science 75: 155–167 (2025)

◇◇

栽培メロン（*Cucumis melo* L.）の遺伝的多様性の増加に貢献した多元的栽培化と系統間交雑

田中克典[1)]•鴫田玄太郎[2,5)]•Tran Phuong Dung[2)]•Phan Thi Phuong Nhi[3)]•高橋茉美[2)]•門田有希[4)]•西田英隆[4)]•石川隆二[1)]・加藤鎌司[4)]
([1)]弘前大学農学生命科学部，[2)]岡山大学環境生命科学研究科，[3)]フエ大学農林学部，[4)]岡山大学環境生命自然科学学域，[5)]ミュンヘン工科大学生命科学部)

Breeding Science 75: 168–178 (2025)

◇◇

ソバ（*Fagopyrum esculentum*）の子実ルチン含量に及ぼす花粉親の影響

大塚しおり[1,2)]・原　尚資[1)]・石黒浩二[1)]・松島憲一[3)]・安井康夫[4)]・松井勝弘[2,5)]
([1)]農研機構北海道農業研究センター，[2)]筑波大学生命環境系，[3)]信州大学学術研究院（農学系），[4)]京都大学農学研究科，[5)]農研機構遺伝資源研究センター)

Breeding Science 75: 179–186 (2025)

◇◇

ルワンダのインゲンマメ種子中の鉄・亜鉛含量のゲノムワイド関連解析（GWAS）

Floride Mukamuhirwa[1,2)]・白澤健太[3)]・内藤　健[4)]・Edouard Rurangwa[2)]・Viateur Ndayizeye[2)]・Alphonse Nyombayire[2)]•Jean Pierre Muhire[2)]•Mahalingam Govindaraj[5)]•大竹憲邦[1)]•岡崎桂一[1)]•岡田萌子[1)]•深井英吾[1)]
([1)]新潟大大学院自然科学研究科，[2)]ルワンダ農業・動物資源開発庁，[3)]かずさ DNA 研究所，[4)]農研機構遺伝資源研究センター，[5)]国際熱帯農業センター)

Breeding Science 75: 187–199 (2025)

◇◇

LAMP法を用いたブドウ品種シャインマスカットの品種特異的識別法の開発と妥当性確認

高畠令王奈[1)]・門田有希[2)]・進藤彰子[2)]・峯岸恭孝[3)]・谷口郁也[4)]・橋本　優[1)]・竹内朋幸[5)]・高崎一人[5)]・磯部祥子[6)]
([1)] 農研機構食品研究部門, [2)] 岡山大学大学院環境生命自然科学研究科, [3)] 株式会社ニッポンジーン, [4)] 農研機構果樹茶業研究部門, [5)] 株式会社ファスマック，[6)] かずさDNA研究所)

Breeding Science 75: 200–209 (2025)

◇◇

「上育462号」を遺伝的背景とする「ゆきひかり」の染色体部分置換系統の作出ならびに出穂期と品質に関わる量的形質遺伝子座の特定

加藤清明[1)]・宗形信也[2,3)]・渡部敏裕[4)]・佐藤　毅[2,5)]・細川優介[1)]
([1)] 帯広畜産大学環境農学研究部門，[2)] 北海道立総合研究機構農業研究本部上川農業試験場，[3)] 現：北海道立総合研究機構農業研究本部北見農業試験場，[4)] 北海道大学大学院農学研究院基盤研究部門，[5)] 現：クミアイ化学工業株式会社生物科学研究所)

Breeding Science 75: 210–223 (2025)

◇◇

日米品種交配に由来する組換え自殖系統群を用いたダイズの耐倒伏性に関する遺伝解析

菱沼亜衣[1)]・福田篤徳[2,5)]・杉本琢真[3)]・内川　修[4)]・森田茂樹[4)]・奥野竜平[4,6)]・加藤　信[2)]・菊池彰夫[1)]・佐山貴司[1)]・横田侑子[2)]・清水武彦[2,7)]・田口（塩原）文緒[2,8)]・小木曽映里[2,9)]・加賀秋人[2)]・平田香里[2)]・山田哲也[2,10)]・藤井健一朗[2)]・李　　鋒[2)]・羽鹿牧太[2,11)]・石本政男[2)]
([1)] 農研機構東北農業研究センター，[2)] 農研機構作物研究部門，[3)] 兵庫県立農林水産技術総合センター，[4)] 福岡県庁，[5)] 現:農研機構本部，[6)] 現:株式会社農社，[7)] 現:かずさDNA研究所，[8)] 現:農研機構基盤技術研究本部，[9)] 現:東京農工大学，[10)] 現:農研機構農業情報研究センター，[11)] 現:株式会社クボタ)

Breeding Science 75: 224–235 (2025)

◇◇

ノート

β-グルカン含量が極めて高く，プロアントシアニジンフリーの，もち性六条裸麦新品種「フクミファイバー」の育成

高橋飛鳥[1,2)]・吉岡藤治[1,3)]・柳澤貴司[1,2)]・長嶺　敬[1,4)]・杉田知彦[1,5)]
([1)] 農研機構西日本農業研究センター四国研究拠点，[2)] 農研機構作物研究部門，[3)] 生研支援センター，[4)] 農研機構中日本農業研究センター北陸研究拠点，[5)] 農研機構西日本農業研究センター)

Breeding Science 75: 236–243 (2025)